



l- lelʔo V-l- ʔelʔ ʔel <ʔa 近いうちに彼は退院する

(cZ[ʔaʔ] cʔʔcʔ ʔeʔ- 春が近い

l- eʔ eʔʔ -ʔʔ e -ʔ 彼女は私の近い親類です

l-ʔo cʔʔʔʔ cʔ ʔa その建物は完成に近い

ʔolʔe ʔcʔ ʔeeʔ トイレが近い

[Veʔʔolʔ>]

-ʔʔは「近い」を表わす。その動詞が起こる近くに何があるかを示す

-ʔʔは場所的な近さと程度的な近さと心理的な近さを表わす

場所的な近さは距離の短さである

程度的な近さとは、もう少しでそうなるという意味での近さである

心理的な近さとは親近感のことである

但し、心理的な近さは親近感を覚えている相手を直接修飾するので格詞は取らない

⊙

-ʔʔは「近い」を表わす。その動詞が起こる近くに何があるかを示す

-ʔʔは場所的な近さと程度的な近さと心理的な近さを表わす。場所的な近さは距離の短さであり、これは単純明快である。場所のみを取り、ふつう語を取る(1)。この-ʔʔはʔʔが代用したʔ-の代わりである

(1) -ʔe ʔa ʔ-ʔe -ʔʔ ʔo- (その店はこの近くにある)

程度的な近さとは、たとえば「瀕死」の「瀕」のことである。もう少しでそうなるという意味での近さである。(ʔ)は日本語に直訳すると不自然な文である。言い換えれば日本語ではそのような表現をしないということである。こういう文にこそアルカの独特性が現われるので注意が必要である

(ʔ) l- V-ʔʔ- ʔeʔ -ʔʔ Vʔʔ (彼は死の近くで敵と戦った=彼は死にそうになりながら敵と戦った)

また、心理的な近さとは親近感のことである。但し、心理的な近さは親近感を覚えている相手を直接修飾するので格詞は取らない

一方、cʔʔは逆に「遠い」を表わす。詳細は-ʔʔと同じである

<ʔo>もcʔʔも2点間の距離が遠い事には変わらない。<ʔo>は客観的に上から見る事によって遠いと判断する事である。cʔʔは2点のうち1つの点から主観的に見てもう1点を見ること。即ち視点の違いである